

2023.3 編集・発行／高幡消防組合
印刷会社／(株)フロムタイムエージェンシー



目次

2ページ 全国消防操法大会・叙勲受章者の紹介

3ページ 緊急消防援助隊全国合同訓練・高規格救急自動車更新・春の火災予防運動

4ページ ニューフェイス・紹介救急車を呼ぶか迷った時は＃7119



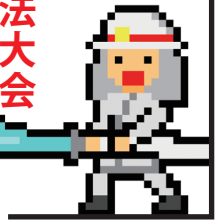
インフォメーション 火事と救急は消防まで!!

■ 消 防 本 部	〒785-0031	須崎市山手町1-7	TEL (0889) 43-1272
■ 須 崎 消 防 署	〒785-0031	須崎市山手町1-7	TEL (0889) 42-0119
■ 中 土 佐 分 署	〒789-1301	中土佐町久礼6653-1	TEL (0889) 52-2319
■ 津 野 山 分 署	〒785-0502	津野町北川2589-1	TEL (0889) 40-1099
■ 葉 山 出 張 所	〒785-0201	津野町永野265-1	TEL (0889) 55-2330
■ 四 万 十 清 流 消 防 署	〒786-0007	四万十町古市町5-1	TEL (0880) 22-0001
■ 四 万 十 清 流 消 防 署 西 分 署	〒786-0521	四万十町津賀177-12	TEL (0880) 28-5525

☆お問い合わせは、お近くの消防署までお願いします。



令和4年度 第29回 全国消防操法大会



『令和4年度第29回全国消防操法大会』が、10月29日千葉県市原市の千葉県消防学校で開催されました。

本大会は、令和2年に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、2年越しに開催され、『令和元年度高知県消防操法大会』において、小型ポンプの部で優勝した梶原消防団が、高知県の代表として出場しました。

した。

全国各県の代表として自動車ポンプ操法の部に21消防団が、小型ポンプ操法の部に24消防団が全国優勝を目指し出場しました。

日頃の練習の成果を発揮し、「92点。タイム40.86秒」で、見事準優勝を収めました。

梶原消防団選手紹介

指揮者 班長	横川 拓也
1 番員 団員	川上 政志
2 番員 団員	隅田 雄策
3 番員 副分団長	中越 芳彦
補助員 団員	宮岡 誠二

令和四年

叙勲受章者の紹介

高幡消防組合でご活躍されていた6名の皆様が日本政府より「瑞宝双光章」「瑞宝単光章」を受章されました。

受章者は、長年にわたり国民の生命・身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、消防力の強化、充実に尽力され消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

春の叙勲

瑞宝双光章

元高幡消防組合 須崎消防団団長

おくさき ゆきのり

奥崎 幸則 様 69歳

元高幡消防組合 津野消防団団長

なべし まことし

鍋島 雅俊 様 74歳

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

元高幡消防組合 消防司令長

いとう じゅんぞう

伊藤 順三 様 64歳

秋の叙勲

瑞宝単光章

元高幡消防組合 東津野消防団分団長

かわうち たけし

川内 武志 様 68歳

元高幡消防組合 中土佐消防団副団長

くろはら しゅういち

黒原 昭一 様 70歳

元高幡消防組合 須崎消防団分団長

ももき よしひと

桃木 良仁 様 72歳





他県と連携して指揮にあたる高知県指揮隊



多重衝突交通事故訓練

緊急消防援助隊全国合同訓練



令和4年11月12日、13日の2日間、静岡県で第6回緊急消防援助隊全国合同訓練が開催されました。この訓練は概ね5年に1回開催され、今回は南海トラフ地震を想定し、全国から緊急消防援助隊登録部隊約700隊、約3000名が集結。地震により発生した大規模かつ甚大な被害を想定した実践訓練が行われました。

高知県からは5隊20名が高知県大隊として出動。高幡消防組合からも救助隊1隊3名が訓練に参加しました。

この訓練の経験を生かして地域住民が安心できる生活のために更なる努力をしていきます。

【緊急消防援助隊とは？】

平成7年の阪神・淡路大震災の教訓をもとに、同年6月に創設。被災地の消防力のみでは対応困難な大規模かつ特殊な災害発生に際して出動し、都道府県単位の部隊編成がなされた後、救助活動を実施します。高幡消防組合では消防隊、救助隊、救急隊、後方支援隊が登録されています。

高規格救急自動車更新

令和4年9月27日、高幡消防組合津野山分署葉山出張所に配備されている高規格救急車を更新しました。

新しい救急車には、高度な救急救命処置を行うための最新の機材や、防振性能が向上されたストレッチャーなど充実した装備が搭載されています。今回から新しく導入された運転席と傷病者室を完全に間仕切る構造や、菌の付着を抑えるため傷病者室のカーテンを廃止し、車外から見えにくいガラスを装着し新型コロナウイルス等の感染症にも対応しています。



春の火災予防運動

令和5年3月1日～3月7日の一週間、全国一斉に春の火災予防運動を実施しています。

この運動は、毎年火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、春と秋の年に2回開催しており、住民の皆様に防火に関する意識や防災行動力を高めていただくことにより、火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。



NEW FACE

よろしくお願いします!!



藤戸 真生 21歳
ふじと まお

- ①四万十清流消防署
- ②四万十町出身
- ③「一生懸命」
- ④何事も進んで勉強し早く一人前の消防士になりたい。



高橋 芽生 19歳
たかはし めい

- ①四万十清流消防署
- ②四万十町出身
- ③「緊禪一番」
- ④一日でも早く仕事を覚え地域の方にも職場の方にも役に立っていけるように頑張ります。



二宮 友朗 26歳
にのみや ともろう

- ①津野山分署
- ②梶原町出身
- ③「七転八起」
- ④地域の皆さんに信頼されるよう日々努力します。



瀧田 直 19歳
たきた なお

- ①中土佐分署
- ②高知市出身
- ③「愛と勇気」
- ④明るく謙虚に頑張りたいです。

① 所属 ② 出身地 ③ 好きな言葉 ④ 自己PR

令和4年8月1日より「高知家の救急医療電話（#7119）」の運用が開始されました。これは、消防庁が推進している救急安心センター事業で救急車の適正利用や救急医療機関の受診の適正化を図ることを目的とし、365日24時間対応したものです。

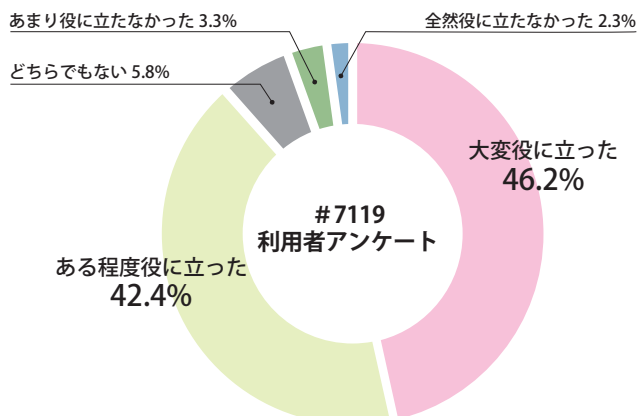
救急安心センター事業（#7119）を導入した自治体が実施した利用者に対するアンケートの結果では「約9割の利用者が「役に立った」と感じています。

「#7119」は心細く不安を抱えている方々に安心を提供します。

救急車を呼ぶか
迷った時は
「#7119」



救急安心センター事業（#7119）利用者アンケート



出典：平成30年度「救急安心センターおおさか」に関するアンケート（結果）

